

富山県SDGs宣言



株式会社HARITAはSDGsの達成のため、
以下について取り組むことを宣言します。

人間は、自然の物質を使って、道具をつくった。
やがて、人工の物質を生み出し、
それを素材として、あらゆるものをつくった。
今、私たちは、物質には限りがあることを知っている。
人間が掘り出したもの、生み出したもの、
そして、社会を巡り、選ってくるものたちを、
もう一度、「素材」にする。
それが、私たちHARITAの仕事。

No.	取組目標及び主な取組み	SDGsゴール
1	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社員が能力を最大限発揮し、仕事と生活の調和を図り働きやすい雇用環境を整備する <p>【主な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 従業員各員の業務負担と時間外労働を減らすことを目的に、DXでの業務改革を行い計画期間内で総因数を3%程度増加させる。 ノー残業デーを設け、生産性の向上を図る 男性社員を対象にした出産時及び育児に関するリーフレットを作成、社内インフラ上に周知・配偶者が出産した男性社員を対象にした相談窓口の発足及び利用を促進 	  
2	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 次世代を担う若者の育成支援を行う <p>【主な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> インターンシップの受入体制を整備し、受入を拡大する 環境やりサイクルの理解を深める為、出前授業や工場見学を最低年2回行う サブリーダーチャレンジ等、キャリアアップの機会創出 	  
3	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高品位なりサイクル材をつくり、資源循環を促進する <p>【主な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> アルミニウムスクラップのアップグレードリサイクル*を推進する 具体的目標値は50t/年以上とする *従来の希釈を中心としたカスケードリサイクルではなく、製品to製品の水平リサイクルや従来より高付加価値な製品へ再生材を提供する 	 

2021年 8月 10日

企業・団体名 株式会社HARITA

代表者名 代表取締役 張田 真